

令和4年度高知県公共事業再評価委員会
議 事 要 旨

令和5年2月7日（火）9:00～9:30
高知会館 3階「飛鳥」

和食ダム建設事業【事業再評価】

◆主な意見等

委 員 : B/Cについて、不特定用水とは、農業の便益のことか。また、B/Cが増えた理由は、農作物の価値が上がったことによるものか。

河川課 : そのとおり。施設園芸のハウスの価値が上がったためである。

委 員 : B/Cが増えた理由は、ビニールハウスの価値が上がったためとの説明であったが、これはマニュアル改訂により単価があがったということか。それ以外に理由はあるのか。

河川課 : マニュアル改訂により単価が上がったためである。

委 員 : 水道については、黒潮カントリークラブゴルフ場や老人介護施設の新規加入があるとのことだが、コロナを経て、需要は見込めるのか。

河川課 : 現在も需要はかわっていない。

委 員 : B/C算定には、水道料は含まれているのか。

河川課 : 水道料そのものは見込んでいない。水道を利用することによる効果については、便益として見込んでいる。

委 員 : 濁水対策のバイオログフィルターは、高さが低いように感じるが、ダム運用後も使えるのか。

河川課 : これは工事中の仮設物である。掘削時、濁り水が下流に流れないようにするためのものである。

委 員 : ダム運用後はないのか。

河川課 : ダム運用後の濁水対策としては、選択取水がある。取水時に、濁りのない層から取水し、下流に流す方法である。

委 員 : 節理面の「全掘削」とは何か。

河川課 : 節理面は、左岸で確認されたすべり面であり、このまま放置すると、ダムに貯めた水が抜ける可能性があるため、その地質のところをす

べて撤去したもの。

委員 : 「押し落とし工法」とは何か。

河川課 : 掘削重機を上部に配置し、ダム上流側の矢板で囲まれた範囲内に、掘削土を落とす工法。

委員 : 掘削土はダム湖内に残しているのか。

河川課 : トラックで場外に搬出している。

委員 : ナンカイアオイについては、ミチゲーションが成功しており安心した。ダム運用後も確認をしてほしい。

河川課 : 承知した。

委員 : 移植した植物については、今後もモニタリングしていくのか。

河川課 : 実施していく。

委員 : 過去の濁水を含め、必要なダムだと思う。令和7年3月の完成に向けて進めていってほしい。